

# 日本英学史学会 中国・四国支部

## ニューズレター

No.70

*Historical Society of English Studies in Japan, Chugoku-Shikoku Chapter*

<エッセイ>

### ことばと向き合う

馬本 勉

どこまでも広く、どこまでも深い。そんな「ことばの世界」を森、林、海などに例えることがある。その名称中に「林」や「海」を含む辞典は、こうした比喩を意識したものだろう。話題の国語辞典『大渡海』（だいとかい・玄武書房刊）は、23万の語数を誇る。語釈は行き届き、バランスと精度に富み、使っても読んでも楽しい。だれかを守り、だれかに伝え、だれかとつながりあう「言葉の力」を自覚する人々によって編まれた。装幀も、紙質も、プロの仕事ぶりを感じさせる見事な出来栄だ。

辞書のあれこれを思い、わが身を振り返ってみる。英語教師の私の周りには言葉が常にある。テキストを中心とした読みの授業では、その準備に英和、英々、和英、国語、漢和をはじめとする種々の辞典が欠かせない。未知語と、気になる既知語も辞書にあたる。語義に添えられた例文にふと笑みをこぼすこともある。自らの頭の中の語彙と、手元の辞書と、テキストとの間で、連想を紡いだり、彷徨ったりする。ことばは広くて深く、軽くて重く、明るくて暗い。まさに「宇宙」でもある。その宇宙を凝縮した辞書を書く人たちがいる。彼らの生活が尋常でないことは、『ことばの海へ』（『言海』）、*Caught in the Web of Words (OED)*、『斎藤秀三郎伝』、『わたしの英語遍歴』（田中菊雄）などにも描かれている。これら超人伝を読むたび、ひたむきに「ことば」に向き合う辞書家の姿に惹かれ、自らもそうした日々を過ごしたいと思う。（青銅の腸を持ち合わせないのが残念だ...）

もっとも、何か一つのことを行うにも、ある種の「総合力」が求められる。英語と向き合うには、日本語や他の外国語の知識はもちろん、語にまつわる背景知識や、実体験も重要だ。英語教育であれば、ことばのことだけでなく、教えるための様々な制度や機器の導入も守備範囲となる。例えばカリキュラムやシラバス、授業のマネジメント。母語話者との授業や海外研修制度。eラーニングはCALLからスマホやタブレットへと軸を移し、クラウド化は加速の一途をたどる。仕組みや道具についての情報収集力、運用力、具現化するための書類作成力や政治力。学生や同僚とのコミュニケーション力。なんでもこなす力が求められ、教師は「総合的に」忙しくなっていく。（ふう...）だからといって、諦めるのではない。何でも来い、と立ち向かおう。ただ、純粹に「ことば」と向き合う気持ちと、時間は大切にしたい。そうでないと、本末転倒になる。

上の『大渡海』は、『舟を編む』（三浦しん著、光文社、2011年）という小説に出てくる架空の辞書だ。フィクションとは言え、この小説は言葉と向き合う人々の、妙なリアリティを感じさせる。読んでいる最中、私は部屋に積んである本の中から、あの辞書も、この辞書もと抜き出しては、傍らに置いた。『舟を編む』は、読めば確実に辞書を引きたくなる本だ。そして、辞書と言葉のあれこれを、だれかと語り合いたくなる。

読了し、ふと思った。私は日々、ことばと向き合っているだろうか。ほかのことに気を取られ、大切なことから遠ざかっていないか。何もかも中途半端なまま、気がつけば舟を漕いでばかりいるのではないか。

もう一度、ことばと向き合い、地道に「編む」方へ進んでみようか。どうにもやはり、そこが原点のようだ。  
(日本英学史学会中国・四国支部事務局長／県立広島大学)

## 平成24年度 日本英学史学会 中国・四国支部 総会

### 第1回(通算66回) 研究例会のご案内

拝啓 新緑の候、会員の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より当支部の発展のために温かいご支援とご協力をいただき心から感謝申し上げます。

さて、平成24年度支部総会、及び第1回(通算第66回)支部研究例会を下記の要領で開催いたします。今回の研究例会では、2本の研究発表が予定されています。お誘いあわせの上ご参集くださいますよう、ご案内申し上げます。

末筆ながら、会員の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

敬具

日本英学史学会 中国・四国支部

日時： 2012年5月26日(土) 12:30 受付開始
会場： 県立広島大学 教育研究棟1(1階) 1175 講義室
〒734-8558 広島県広島市南区宇品東1-1-71 TEL 082-251-5178 (代)
参加費： 会員、非会員とも無料

#### 支部総会 (13:30~13:50)

議長選出、前年度活動報告、会計報告、会計監査報告、新年度活動計画、他

#### 開会行事 (14:00~14:10)

支部長挨拶

#### 研究発表① (14:10~15:20)

「陸軍士官学校入学試験英語問題にトライ！」

田中 正道 (広島大学名誉教授)

休憩 (15:20~15:30)

#### 研究発表② (15:30~16:40)

「『出家とその弟子』の「序曲」—原文と英仏訳文との比較考察—」

野村 勝美 (日本英学史学会 中国・四国支部会員)

#### 感想記入 (16:40~16:45)

#### 閉会行事 (16:45~17:00)

副支部長挨拶、写真撮影

#### 懇親会 (17:30~19:30) 大学食堂にて (会費 3,000円程度)

## 研究発表の概要

### ① 「陸軍士官学校入学試験英語問題にトライ！」

田 中 正 道 (広島大学名誉教授)

満洲事変 (昭和6年), 支那事変 [当時の呼称] (昭和12年) と戦時体制が強固になっていった時期の陸軍士官学校の入学試験英語問題を当時の社会情勢とともに紹介する。本発表において, この学校の入学試験英語問題は出題形式, 出題内容ともに同時期の官立高等学校の「定番」スタイルとは若干異質であったことを指摘したい。

### ② 『『出家とその弟子』の「序曲」—原文と英仏訳文との比較考察—』

野 村 勝 美 (日本英学史学会 中国・四国支部会員)

倉田百三の『出家とその弟子』を英訳したショーが, 彼の翻訳本 (1922) について, 逐文訳であり忠実な逐語訳であると述べている。1926年版へのまえがきでは, 二点は訂正したが他の不備はそのままにしたと述べている。発表者はショーが逐文・逐語訳に努める中で不備の余地は何処にあったのかという点に関心をひかれる。それを明らかにするべく原文と英・仏訳本との「序曲」をとおして, また翻訳方法をめぐっても明確にするべく取り組む。

### 研究例会会場への交通案内

(県立広島大学ホームページ <http://www.pu-hiroshima.ac.jp/>より)

#### ●広島駅から

- ・【バス】 広島バス「31号(翠町線)」にて  
「県立広島大学前(広島キャンパス)」下車—徒歩1分
- ・【市内電車】 [5番] 広島港(宇品)行きにて  
「県病院前」下車—徒歩7分

#### ●バスセンター(紙屋町)から

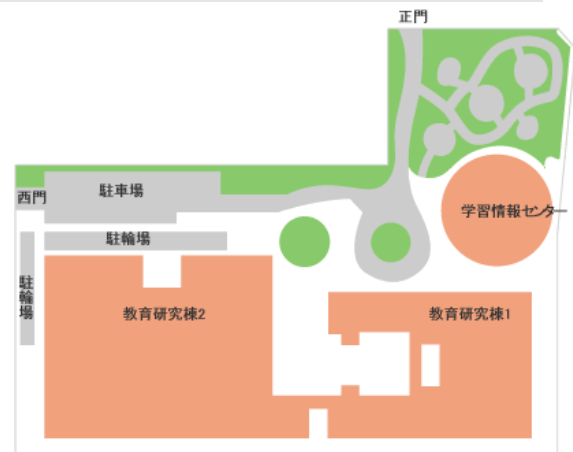
- ・【市内電車】 [1番] [3番] 広島港(宇品)行きにて  
「県病院前」下車—徒歩7分

#### ●広島港(宇品)から

- ・【市内電車】 [1番] [5番] 広島駅行き  
又は[3番] 広電西広島(己斐)行きにて  
「県病院前」下車—徒歩7分

#### ●八丁堀(天満屋前)から

- ・【バス】 広電バス「12号線(仁保沖町)」にて  
「県立広島大学前(広島キャンパス)」下車—徒歩1分



※広島キャンパスの正門を直進すると, 正面に「教育研究棟1」の入口があります。

## 中国・四国支部ニュース

### >> 事務局よりお知らせとお願い

#### ①名簿の改訂について

「会員登録内容の確認について」を同封しています。変更のある方は5月18日(金)までにお知らせください。合わせて、総会・例会・懇親会(5月26日)の出欠についてもご回答をお願いいたします。

#### ②会費の納入について

5月26日(土)の研究例会へご参加の方は、平成24年度年会費(一般3,000円、学生2,000円)を受付でお支払いください。その際に『英学史論叢』第15号、および今年度の名簿をお渡しする予定です。ご欠席の方へは、例会終了後、今年度の紀要、名簿とともに、年会費用の振込み用紙をお送りします。

昨年度未納の方へは、2年度分をご請求申し上げます。続けて未納の場合は2年めの年度末をもって「自然退会」となりますので、ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

### >> 新入会員(敬称略)

藤本文昭(ふじもと ふみあき)

今治明德高等学校矢田分校。専門は英語教育、研究分野は、芸予諸島・今治地域の英語教育。

## 英学史情報ひろば

◇『洋学資料館』No.6(2012年2月、津山洋学資料館)昨年12月に開催された津山研究例会について紹介されています。[館長・下山純正先生より]

◇安部規子先生著『修猷館の英語教育 明治編』(海鳥社、2012年1月、本体1,700円)の紹介記事が読売新聞朝刊(福岡県版4月4日)、西日本新聞朝刊(3月18日)に掲載されました。

◇第140回「広島ラフカディオ・ハーンの家」ニュース(2012年4月)[風呂鞆先生より]

\* \* \*

◇三好恭治氏「漱石に先行する松山中学校外国人教師の来歴:ノイス、ターナー、ホーキンス、ジョンソン」『伊予史談』364(2012年1月)pp.22-31.

◇金山等氏「やまがた再発見80. 田中菊雄(上) 英語を教えることは天職」「やまがた再発見81. 田中菊雄(下) 辞書家として生きる運命」『山形新聞』(2012年1月8日、1月15日)

## 英学史学会全国ニュース

### >> 『英学史研究』44号

2011年10月1日発行。[論文] 加藤詔士「後藤牧太の英国留学」/石原千里「ルイス・村上編 *Ronald MacDonald* と K. T. Takahashi」ほか

### >> 「日本英学史学会報」No.127 (5月1日付)

《史に聴けば》(25) 蝦名賢造著『札幌農学校:日本近代精神の源流』復刻版(小玉敏子)

《英学史散策》調査資料・洋学史(江戸)散歩(3) 柳河春三(浅草・願龍寺)(堀孝彦)

《追悼》井田好治先生、松野良寅先生

《支部活動報告》※中国・四国支部からの報告として、ニューズレターNo.69の発行、平成24年度第1回支部例会の日程などが掲載されています。

※閲覧希望の方は支部事務局までご連絡ください。

### >> 第49回全国大会

平成24年度の日本英学史学会全国大会は、10月20日(土)~21日(日)、和歌山大学教育学部にて開催。資料展観「教科書と参考書でたどる日本人の英語学び史」ほか。

※日本英学史学会(本部)の会員登録の詳細は、以下の日本英学史学会ウェブサイトをご覧になるか、支部事務局までお問い合わせください。

(日本英学史学会ウェブサイト) <http://eigakushi.org/>

広島英学史の周辺(36) 広島県はおいしい!のだが、「おいしい」を英語で何と言う。残念といっても「おいしい」の一手前だから、almost や close がいい。▼唐突だが、「エンリョのカマタリ」はどうだろう。『そして、僕はOEDを読んだ』(アモン・シェイ、三省堂、2010年)で *accismus* という語を知る。ことばも、あるところにはあるようだ。▼ニューズレターは節目の70号。皆様のご支援に感謝申し上げます。(馬)

日本英学史学会 中国・四国支部ニューズレター No. 70

2012年5月5日発行

発行 日本英学史学会中国・四国支部(代表 竹中龍範)

事務局 〒727-0023 広島県庄原市七塚町562

県立広島大学 馬本研究室内

電話&FAX: (0824) 74 - 1725 (直通)

e-mail: eigaku@tom.edisc.jp

ホームページ <http://tom.edisc.jp/eigaku/>

郵便振替口座 01360-9-43877 日本英学史学会中国・四国支部

Newsletter No.70